

土器づくりワークショップ



市内で出土した土器を見本に実際に土器を作ってみませんか。

- **本格体験コース(2日間)**
1日目に土器を作り、2週間の乾燥期間を開けた後、2日目として火起こしから土器焼きまでの体験ができます。
- **簡易体験コース**
粘土を利用し、本物の土器を見ながら作ります(土器焼きなし)。

コース	とき	ところ	定員	費用
本格体験	1日目 2月17日(土) 10:00~	教育研究所(青地町)	各4組(抽選)	200円
	2日目 3月2日(土) ①10:00~②14:00~ (2時間程度)			
簡易体験	2月17日(土) ③13:00~④15:00~	教育研究所(青地町)	各15人(抽選)	100円

対 小・中学生とその保護者 ※本格体験は、子ども1人につき保護者1人
申 2月5日(月)~13日(火)
申・問 歴史文化財課(6階) ☎561-1503、FAX561-2488

講演会 「野路小野山製鉄遺跡を考えよう」 ~滋賀県の中からみた野路小野山製鉄遺跡~



滋賀県の中から見た野路小野山製鉄遺跡とはどのような遺跡なのか、学んでみませんか。

- 講師 大道和人さん
(滋賀県立安土城考古博物館)
- ◎ 2月23日(金) 14:00~16:00
(受付13:30~)
- 所 市役所8階 大会議室
- 定 100人(当日先着順)
- 問 歴史文化財課(6階)
☎561-2429、FAX561-2488

おすすめの本を紹介

雪女のキス 井上雅彦 監修/光文社

「怪談の季節は？」と聞かれると、夏だと言う人が多いと思いますが、英国ではクリスマスに怪談を読むこともあるそうです。

本書では、総勢22人の作家が「雪女」をテーマに、独自の視点で作品を披露します。ある吹雪の晩に一人の木こりが不思議な体験をする「怪談」でお馴染みの、小泉八雲「雪おんな」を筆頭に、絵画に描かれた雪女をめぐる話、現代に生きる雪女、バーで聞いた雪女の話、事件のトリックに使われた雪女、シナリオで読む雪女などを一度に楽しむことができる贅沢な作品集です。

寒さが厳しい季節はまだまだ続きます。特に雪がしんしんと降る夜に本書を開いてみてはいかがでしょうか。雪女の足音が皆さんのすぐそばまで聞こえてくるかもしれません。

問 図書館(草津町) ☎565-1818、FAX565-0903
南草津図書館(野路一) ☎567-0373、FAX567-2357

横断歩道利用者ファースト運動

横断歩道では、歩行者が優先です。運転者は、歩行者がいけないことが明らかな場合を除いて、減速や停止をしなければなりません。歩行者は安全確認後に「手を上げる」などの意思表示を行い、横断してください。

問 交通政策課(5階) ☎561-2343、FAX561-2487

障害者福祉センター教養文化講座(抽選)



だれでも、気軽に楽しく参加できる講座です。詳しくは、お問い合わせください。

◎ 4月~来年3月
対 市内在住か通勤・通学・通園している、障害のある人を優先
申 2月17日(土)~3月2日(土)に、障害者福祉センター窓口か、電話、ファクスで

講座名	内容	とき	定員	受講料/回
絵てがみ	絵が苦手な人も大丈夫。季節の花や野菜を楽しく描く	第1・3火曜日 10:00~12:00	20人	500円
いきいきアート	感性を刺激して、脳を活性化	第4火曜日 13:30~15:30	10人	500円
元気アップ体操	椅子に座りながらの簡単な体操	第1・3水曜日 14:00~15:30	20人	250円
陶芸	初心者大歓迎。自分だけの作品作り	第1土曜日 13:30~15:30	10人	1,250円
楽しいスポーツ	玉入れ、ボウリング、的当てゲームなど	第1土曜日 10:30~12:00	10人	250円
ミュージック・ケア	音楽を使って心と体をリフレッシュ	第2土曜日 10:00~11:00	20人	250円
楽しい絵遊び(小学生以下)	クレヨンや画用紙で、自由に楽しく絵遊び ※保護者同伴	第4土曜日 10:00~12:00	15人	500円
楽しい美術(中学生以上)	さまざまな絵画の技法で自分の世界を表現	第4土曜日 13:30~15:30	20人	500円
リカバリーカレッジ ※6月開講(全7回)	自分らしく生きることについて学ぶ	第3土曜日 13:30~15:30	15人	6~12月 250円
一緒にあそぼ	音楽に合わせて体を動かそう	第3土曜日 10:00~12:00	10人	250円
パソコン教室 基礎コース(全10回)	初めてのパソコン操作、活用方法(ワード、エクセル以外)	4~6月の土曜日 10:00~12:00	6人	250円 テキスト代(2,000円別途要)
パソコン教室 ワード、エクセルコース(初級)(各全6回)	チラシ作成などを目標に、ワードやエクセルを基礎から学ぶ	①7~8月の土曜日 10:00~12:00 ②9~10月の土曜日 10:00~12:00 ③11~12月の土曜日 10:00~12:00 ④来年1~2月の土曜日 10:00~12:00	各6人	250円 テキスト代(1,000円別途要)

申・問 障害者福祉センター(西渋川二、渋川福複センター2階) ☎569-0351、FAX569-0354
問 障害福祉課(1階) ☎561-6972、FAX561-2480

歴史ギャラリー No.195

歌川貞虎「近江八景之内 矢橋の帰帆」(草津市蔵・中神コレクション)

琵琶湖周辺の八つの景勝地「近江八景」の一つである「矢橋帰帆」を題材にした作品です。作者の歌川貞虎は美人画・役者絵で有名な歌川国貞の弟子で、この作品は文化12(1815)年(天保13(1842)年に制作されたものと推測されます。女性に化粧と髪型から見て年若く、前髪に挿した籠甲のかんざしと塗りの櫛、華やかに結んだ赤い帯と振袖から、裕福な家の娘と考えられます。後ろにいる子どもはきょうだいでしょうか。髪型から4、5歳くらいと思われ、薄いまゆやふつくらした輪郭に、幼い可愛らしさが描写されています。

子どもが夢中になって覗き込んでいるのは、帆掛け船といかだのミニチュアです。手前には虫かごも置かれており、微笑ましい遊びの光景と「帰帆」をリンクさせる趣向です。

上部に配された「矢橋港」の風景は、人物画の背景としては詳細な描写です。同



▲歌川貞虎「近江八景之内 矢橋の帰帆」(草津市蔵・中神コレクション)

かもしれません。ここでは、帆を立ててこちらに向かってくる船の他、高札場や常夜灯、漁業に使う網が干されている様子も描き込まれています。江戸時代の矢橋港は、大津まで湖上を船で向かう東海道近道として、旅人の渡し場であったとともに、米をはじめとした物流の要所でもありました。江戸時代後期の『東海道名所図会』にも、この作品とよく似た矢橋港の様子が描かれています。

昭和57(1982)年、矢橋港跡では、発掘調査で江戸時代の石積突堤が発見され、かつての船着場の姿の一端が明らかになりました。現在ではその成果を元に、3本の突堤が復元整備されています。矢橋帰帆高が造成され、湖岸線も変わり、琵琶湖が開かれたかつての港の景観は失われていますが、浮世絵などの絵画作品や『東海道名所図会』などの歴史資料、発掘調査の成果を併せて、当時の姿をしのぶことができます。

問 歴史文化財課(6階) ☎561-2429、FAX561-2488